

## まばたき

音無 早矢

ロボットのような音して蝸牛  
ペン牝豚のことしか知らぬ父の日の  
瞬きの間に校庭の虹になる  
風薫る広瀬香美を見かけたが  
友人と恋人の差を雲の峰  
なめくじのどこからがはじまりですか  
ワンピース今日は濡れてもいいことに  
夏の夕筆の音からうつくしく  
夕焼けに母の背中小さくて  
自転車も車の仲間夜の秋  
爽やかになるまで五分経ちました  
指と指触れる流れ星のあわい  
初雪はロマンティックでいいですか  
クリスマスごときで母に勝てません  
待ち人はいますか春のセーターの  
レゴランドくらいの距離がいい董  
切手貼ることの少なくフリージア  
アイシャドウ塗ってまばたきして緑陰  
酷暑だし末法なんてしらんがな  
蛍の火わたしがわたしを生きること